allcinema

デリカテッセン（1991）

DELICATESSEN

メディア　映画
ジャンル　ＳＦ　コメディ　ドラマ
製作国　フランス
色彩　Color
時間　100分
初公開日　1991/12/21
公開情報　フジテレビ＝ヘラルド・エース提供／ヘラルド・エース＝ヘラルド
映倫　PG12
リバイバル　2025/01/10［Diggin’］（４Ｋレストア版）

【キャッチコピー】
肉踊る世紀末の巴里へようこそ。

【解説】
　摩訶不思議な異次元空間を見事に創りあげ、“イメージの錬金術師”“フランスのテリー・ギリアム”との異名をとったジャン＝ピエール・ジュネ＆マルク・キャロ監督による長編デビュー作。核戦争終了１５年後のパリ郊外に、ポツンと残る精肉店兼アパート“デリカテッセン”。ここの住人は、いつも不気味な笑いを浮かべる親父を始め、肉食主義の曲者揃い。草も木も生えず、食べ物のないはずの近未来の精肉店で売られている肉とは……？　この映画の見所は、何と言ってもＣＦ出身のジュネとキャロが描く映像の面白さ。水道管やダクトの中を縦横無尽に入ってゆくキャメラ、大胆なまでのアングル、セックスをしているベットの軋むバネの音から、布団を叩く音などを畳みかけるように演出した緊迫感。そして近未来という設定ながら、１９５０年代風のクラッシックな美術に、隅々まで雰囲気ピッタリのキャストとがあいまって、独特のクレイジーな映像世界を構築している。また、肉食主義対菜食主義という奇想天外な発想に加えて“赤頭巾ちゃん”や“白雪姫と７人の小人”といった童話のイメージをダブらせて、ＳＦともファンタジーとも言える独特の映像を創り上げている。これらこの監督の持つ、独特の映像感覚はこの後に製作された「ロスト・チルドレン」でも見事なまでに受け継がれており、このテの、一種“毒”のあるハイテンポなギャグ、異様な映像世界が好きな御仁には間違いなくお勧めの１本！である。

【クレジット】

監督	ジャン＝ピエール・ジュネ	Jean-Pierre Jeunet
	マルク・キャロ	Marc Caro
製作	クローディー・オサール	Claudie Ossard
脚本	ジャン＝ピエール・ジュネ	Jean-Pierre Jeunet
	マルク・キャロ	Marc Caro
	ジル・アドリアン	Gilles Adrien
撮影	ダリウス・コンジ	Darius Khondji
美術	ミリアン・クレカ・クリアコヴィッチ	Miljen Kreka Kljakovic
音楽	カルロス・ダレッシオ	Carlos D’Alessio
出演	ドミニク・ピノン	Dominique Pinon
	マリー＝ロール・ドゥーニャ	
	ジャン＝クロード・ドレフュス	Jean-Claude Dreyfus
	カリン・ヴィアール	Karin Viard

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

ティッキー・オルガド	Ticky Holgado
アン＝マリー・ピサニ	
エディス・カー	
チック・オルテガ	Chick Ortega

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.